

会員各位

岐阜県病院薬剤師会
渉外研修部・業務戦略部

第 302 回 岐阜県病院薬剤師会 研修・学術講演会開催のご案内

時下、先生におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。
さて、下記のとおり研修会・学術講演会を開催しますので、奮ってご参加頂きますようご案内致します。

敬具

記

日時：平成 28 年 1 月 16 日（土）14 時 30 分より

場所：長良川国際会議場 4 階 大会議室

岐阜市長良福光 2695 - 2 Tel (058) 296 - 1200

《研修の部》

テーマ：『 外来・病棟での薬剤師業務、どうしていますか？ 』

総合司会・進行 大垣市民病院 薬剤部 鈴木 宣雄 先生

【開会の辞】 14：30～14：35

副会長（渉外研修担当）高橋 悟

【施設報告】 14：35～15：50

1. 『 当院の病棟薬剤業務実施加算に向けての取り組み 』
羽島市民病院 薬剤部 伊藤 真也 先生
2. 『 褥瘡治療における薬剤師の介入 』
早徳病院 薬局 西岡 恵子 先生
3. 『 当院における病棟薬剤業務の現状と今後の展望 』
松波総合病院 薬剤部 山谷 雅子 先生

【総合討論】 15：50～16：05

主催 岐阜県病院薬剤師会

当院における病棟薬剤業務実施加算取得に向けての取り組み

羽島市民病院 薬剤部 伊藤 真也

日本病院薬剤師会が集計をしている平成 26 年度「病院薬剤部門の現状調査」の結果によると 100～299 床の病院において病棟薬剤業務実施加算の算定率は 17.3%、今後算定できるよう検討中であるは 9.5%とまだまだ一般的に算定しているとは言えない現状である。

そこで、当院では約1年前より病棟薬剤業務実施加算を算定できるように徐々に取り組みを開始している。その結果、最低限の算定要件を満たせる状況になったため 2016 年 4 月より算定予定である。

今回は、日本病院薬剤師会が発行している「薬剤師の病棟業務の進め方(Ver.1.1)」に記載がある病棟薬剤業務の項目や、「病院薬剤部門の現状調査」で算定するために行った項目を参照として、当院で行った取り組みを報告する。

褥瘡治療における薬剤師の介入

早徳病院 薬局 西岡 恵子

高齢者では、基礎疾患の存在に加え、皮膚の脆弱性が増し、尿失禁・便失禁による過度な皮膚の湿潤環境は、容易に皮膚の障害を起こしやすい。特に、褥瘡は高齢者での発生リスクが高く、長期療養を必要とする高齢患者の多い病棟では、しばしば問題となる皮膚疾患です。褥瘡については、「介護の問題」と言われていた時代は過ぎ、現在は「全身病」として考えられており、治療には医師・看護師だけでなく、薬剤師、栄養士、理学療法士などを加えた多職種による取り組みが必要であると言われていています。薬剤師が介入することで、治療期間の短縮、薬剤費用の削減が可能であるとする報告もあり、褥瘡治療のチーム医療において、薬剤師の職能発揮が求められています。

早徳病院（以下、当院）では、H26年4月より薬剤師も褥瘡対策委員会に参加し、入院患者の褥瘡防止および治療に取り組んでおります。薬剤師参加以前の当院での褥瘡治療は、ドレッシング材を用いた治療が中心であったため、薬剤師がほとんど介入しておりませんでした。委員会参加後は、薬剤師が積極的に介入し、病態にあった軟膏基剤を選ぶことで（患部の湿潤調整を行い）、主薬の薬効成分が活かせるよう処方提案を行っています。

本日の施設報告では、薬剤師から医師への軟膏の処方提案を行うまでの経過をご報告させて頂くとともに、症例や今後の課題等について発表させて頂きます。

当院における病棟薬剤業務の現状と今後の展望

松波総合病院 山谷雅子

当院は急性期病棟、地域包括ケア病棟、障害者病棟、回復期リハビリテーション病棟を含む 12 病棟 501 病床数の総合病院である。平成 22 年 8 月より整形外科病棟から薬剤師の病棟常駐配置を開始し、平成 23 年 7 月には全病棟への薬剤師の配置を達成した。平成 24 年度の診療報酬改定により「病棟薬剤業務実施加算」が新設されたが、それと同時に加算を取得している。平成 26 年 7 月に新病棟が建設され、服薬指導算定対象の病棟は 9 病棟となり 11 人の薬剤師を病棟専任とし、病棟薬剤業務並びに入院患者に対して服薬指導を行っている。今回、病棟薬剤業務、薬剤管理指導及び退院時薬剤情報管理指導への取り組みについて、当院での現状を報告する。

《 学術講演会の部 》

■ 情報提供 16 : 15 ~ 16 : 30

『 多岐にわたる経皮吸収剤 ～ 降圧剤貼付薬を中心に～ 』

トーアエイヨー株式会社 名古屋支店 塚本 健人

■ 特別講演 16 : 30 ~ 18 : 00

座長 岐阜県病院薬剤師会 会長 遠藤 秀治 先生

『 病院薬剤師をめぐる最近の話題 ～ 薬剤師と法令の関
係について～ 』

一般社団法人 日本病院薬剤師会 副会長

土屋 文人 先生

【閉会の辞】

副会長（渉外研修担当）高橋 悟

参加費：薬剤師会会員 500 円 非会員 2000 円 学生 無料

註）薬剤師会会員：他の都道府県薬剤師会会員の方も該当します。

単 位：日病薬生涯研修制度に該当する研修会です。

日本薬剤師研修センター研修制度 2 単位（申請予定）

日病薬病院薬学認定薬剤師制度 III-1 : 1 単位、I-3 : 1 単位（申請予定）

J-PALS 研修会コード 21-2015-0165-101

※ 学術講演会の部終了後、情報交換会を計画しております。

※ ご提供、ご記帳頂いた施設名、ご芳名は医薬品および医薬・薬学に関する情報提供のために利用させていただくことがございます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

共催 岐阜県病院薬剤師会 トーアエイヨー株式会社